

警報等が発表された場合の教育活動の実施基準

◎地震発生時・南海トラフ地震臨時情報発表時

状況		教育活動実施基準
地震	学校が所在する地域で震度 4 以下の地震が発生したとき	<登校前・登校時> <input type="checkbox"/> 通常授業、ただし状況に応じて休校 <在校時> <input type="checkbox"/> 通常授業、ただし状況に応じて授業中止
	学校が所在する地域で震度 5 弱以上の地震が発生したとき	<登校前・登校時> <input type="checkbox"/> 休校 <在校時> <input type="checkbox"/> ただちに教育活動を中止
南海トラフ地震臨時情報	調査中	<input type="checkbox"/> 原則通常授業 <input type="checkbox"/> 情報収集 <input type="checkbox"/> 校内放送等による連絡
	巨大地震注意 巨大地震警戒	<input type="checkbox"/> 原則通常授業 <input type="checkbox"/> 教育委員会との連絡調整 <input type="checkbox"/> 保護者への学校対応の連絡 <input type="checkbox"/> 地震への備えの再確認
	調査終了	<input type="checkbox"/> 原則通常授業 <input type="checkbox"/> 保護者への学校対応連絡

※南海トラフ地震臨時情報の発表が、登校前の場合は自宅待機、登校中の場合は安全に注意して登校、放課後や休日における活動中の場合は安全に注意して速やかに下校することを原則とする。

◎津波警報・注意報発表時

注意報・警報	教育活動実施基準
津波注意報	<登校前・登校時> <input type="checkbox"/> 通常授業、ただし状況に応じて休校 <在校時> <input type="checkbox"/> 通常授業、ただし状況に応じて授業中止
津波警報 大津波警報	<登校前・登校時> <input type="checkbox"/> 休校 <在校時> <input type="checkbox"/> ただちに教育活動を中止

◎気象警報・注意報発表時

情報		授業	対応
注意報	強風 大雨 洪水	通常授業	<input type="checkbox"/> 今後の気象情報や地域の実情等をもとに家族と相談し、安全に登下校できることを確認した上で登校する。 <input type="checkbox"/> 登下校の安全に不安がある場合は、学校に連絡し自宅で待機するか状況をみて登校する。
警報	特別警報 (大雨・洪水・波浪等)	授業中止	<input type="checkbox"/> 静岡市南部に特別警報が出された場合、全ての教育活動を中止する。 <input type="checkbox"/> 在校時は原則として学校で待機する。警報が解除され、安全に帰宅できることが確認された場合保護者に引き渡す。 <input type="checkbox"/> 在宅時および登下校途中には市町の指示に従い、避難行動をとる。
	暴風	授業中止	<input type="checkbox"/> 午前6時の時点で暴風警報が発令されている場合は、午前11時まで自宅で待機する。 <input type="checkbox"/> 午前11時の時点で暴風警報が解除されていない場合は、1日休校とする。 <input type="checkbox"/> 午前11時の時点で暴風警報が解除されている場合は、午後の授業に間に合うように登校する。 ただし、今後気象情報や地域の実情等をもとに家族と相談し、安全に登下校できることを確認した上で登校する。もし登下校の安全に不安がある場合は、学校に連絡し、自宅で待機するか状況をみて登校する。
	大雨 洪水	通常授業 又は 授業中止	<input type="checkbox"/> 今後の気象情報や地域の実情等をもとに家族と相談し、安全に登下校できることを確認した上で登校する。 <input type="checkbox"/> 登下校の安全に不安がある場合は学校に連絡し、自宅で待機するか状況をみて登校する。
	その他 気象警報	通常授業 又は 授業中止	<input type="checkbox"/> 安全を確認した上で登下校する。登下校の安全に不安がある場合は学校に連絡し、自宅で待機するか状況をみて登校する。 <input type="checkbox"/> 市町等から出される避難情報に留意し、安全を確保できない場合は自宅待機又は学校での留め置き、休校とする。

◎原子力災害発生時

本校はUPZ外のため、原則として、通常授業を行う。

PAZ又はUPZ圏内から通学している生徒には、災害発生状況を把握し、当該生徒に正確な情報を伝える。原子力災害の場合、自家用車避難を原則とすることから、保護者と生徒が可能な限り一緒に行動できるよう下校又は引渡しの時期を判断する。下校又は保護者への引渡しができない場合は、学校で待機させ、教職員とともに行動する。

◎噴火警報発表時

	レベル	教育活動実施基準	下校・引渡しのルール
噴火警報（居住地域） 又は 噴火警報	レベル 5	<登校前・登校時> <input type="checkbox"/> 休校	<input type="checkbox"/> 下校又は引渡し
	レベル 4	<在校時> <input type="checkbox"/> 休校措置	
噴火警報（火口周辺） 又は 火口周辺警報	レベル 3	<登校前・登校時> <input type="checkbox"/> 原則として休校 <在校時> <input type="checkbox"/> 原則として速やかに休校措置	<input type="checkbox"/> 下校又は引渡し
	レベル 2	<input type="checkbox"/> 通常授業	
噴火予報	レベル 1	<input type="checkbox"/> 通常授業	<input type="checkbox"/> 通常どおり

◎特別警報発表時（平成 27 年 2 月 24 日付教総健第 558 号）

種類	対応	
気象等	県内全域又は学校所在地の市町に特別警報が発表された場合	特別警報が解除され、且つ安全が確認されるまで、原則として教育活動は中止し、児童生徒及び教職員の安全確保を徹底する。
	学校所在地以外の県内市町に特別警報が発表された場合	学校が所在する市町に対し、特別警報が発表されていない場合であっても、児童生徒の居住地や通学状況等に十分配慮した上で、教育活動の実施について適切に判断する。
津波	大津波警報発表時の対応とする。	
火山噴火	噴火警報発表時の対応とする。	
地震動	緊急地震速報発表時の対応とする。	

◎全国瞬時警報システム（Jアラート）

(1) 「ミサイル発射」の発信時

時点	対応
在校時	授業（放課後であれば部活動）を中止し避難行動をとる。 屋外にいる場合は、校舎等の建物内に避難する。 室内を密閉し、できる限り窓から離れる。
登下校時	登校前であれば自宅待機とする。 登下校中であれば、近くの建物や地下に避難する。

(2) 「ミサイル通過＝影響がない場合」の発信時

時点	対応
在校時	避難行動をやめ、授業（放課後であれば部活動）を再開する。
登下校時	避難行動をやめ、登校時であれば登校する。 下校時であれば、速やかに帰宅する。

(3) 「ミサイル落下＝影響がある場合」の発信時

時点	対応
全時間帯	屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチ等で覆い、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。自治体から指示があった場合は、指示に従って行動する。